

見えない危険から子どもを守ろう

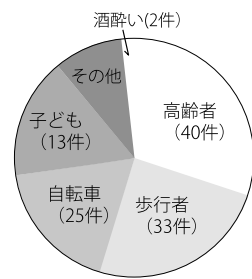
夏休みを安全に過ごすために

夏本番、夏休み真っ只中の子ども達。だが、楽しい夏も事故など思いがけない危険が潜む。携帯・スマホの普及で、大人が「見えない・気付かない」危険が子どもを襲うケースもある。子どもの夏の安全を考える。

学校を離れ、家庭や社会で過ごす夏休みは、子ども達を守る防護壁が一つなくなる時期でもある。まずは子ども達の交通・海・川等の事故を防ぐ。また、遊技場等への立ち入りや帰宅時間に気を配ると同時に、普及が進む携帯、スマホの利用に十分な注意が必要だ。

◆長後地区交通事故状況

平成27年藤沢北署管内の長後地区の交通事故発生状況は高齢者の事故が多く、加害者や被害者にもなっている。子どもの急な飛び出し、自転車との接触トラブル等、子どもがらみの事故を防ぐ



平成27年度長後地区交通事故発生状況 (全事故133件)

には地域全体の交通安全意識が欠かせない。

◆長後中でネット講座

長後中では7月19日(火)全生徒が米田直哉さん(お助けネット)を講師に情報モラルの学習をした。

中学生の携帯・スマホの所有率は90%に近く、その使用時間は授業時間を超える。利用によるメリットも多いが事件や犯罪に繋がる事も

ちようご今昔 Photo



出兵兵士の家族写真。戦後71年。現在は庭の趣も変わり、百日紅の花が夏を告げている。



長後地区郷土づくり推進会議 「アンケート」集計

6月10日号の「広報ふじさわ」と合わせて、長後地区郷土づくり推進会議の「長後地区の課題」アンケートが全戸配布され、94件の回答が寄せられた。回答者の性別では女性が



携帯・スマホによるトラブル事例を真剣に聞く長後中の生徒

知らなければならぬ。ネットにアップした「一枚の写真」「一言のつぶやき」が炎上し、情報源が特定されて進学や就職に影響し、将来へ禍根を残すこともある。ネットにアップした情報を消すのは非常に難しい。またラインのトラブルの向き合い方としては、ライントークの中で解決しようとせず直接話したり人に相談する。自分も他人も傷つけない、そして傍観者にもならない。そんな心がけが必要となる。

地域を見守る新しい顔

スクールガードリーダー・千葉好治さん



千葉好治さん

緑のベストに青いキャップ、長後の子ども達を守るために精力的に活動するスクールガードリーダー。その任をこの4月正式に引き継いだ千葉好治さん、68歳。高倉在住で、前任の中山春男さんとは自宅が近く以前からの顔見知り。推薦を受けて、地域に貢献したいという気持ちで引き受けた。

警察官として定年まで勤め上げ、その後、JRA(日本中央競馬会)に5年間在籍。優しい笑顔がソフトな印象だが、剣道二段の腕前だ。毎朝夕、長後小・富士見台小・湘南台小の学区を、日によってメインを決めてパトロールするが、不審者等の情報があると重点的に

59%と、日頃の長後の街に対する関心の高さがうかがえる。20歳代から70歳以上まで幅広い年齢層から回答が寄せられた。多かったのが歩道設置等の道路関係の訴え。ついで商店街活性化・街の再開発・スーパーマーケットの新店・公園設置・コミュニティバス運行等、いずれも日々の暮らしの中で切実に感じている項目ばかり。郷土づくり推進会議では、アンケート結果及び今年度までの活動を踏まえて来年度以降の活動テーマを決定する。詳細は11月26日(土)開催予定の長後地区全体集会で紹介される。

ワクワク・ドキドキ初投票

選挙年齢18歳に引き下げ

7月10日(日)の参院選は全国約240万人の18・19歳が選挙権を行使する初の国政選挙となった。

総務省7月11日発表の投票率では18歳が51%、19歳が40%で合わせて45%を超え男女別では男性43%、女性48%であった。

県では約16万人、市では約8千人が新たに選挙人名簿に登録され、県内の18歳投票率は65%で全国最高、市内の18歳投票率は58%(サンプル調査)となった。

女性が参政権を得て70年、節目の年に主権者として初めて一票を投じた女子大生に体験を寄せてもらった。

《投稿》

今年私は19歳になった。毎日、大学のレポートや課題に追われてテレビを見る暇もなかったし、大学近くで下宿生活をしていて新聞も取っていないため、政治のことについて知らないことだらけだった。しかし、母は投票には絶対行けというので分からないながらも選挙に行くことを決めた。

前日に家に帰り、家族に選挙の仕組みなどを教えてもらい、選挙に関する新聞を読んで少しずつだが知識をつけて、投票に臨んだ。いざ紙に名前を書くとなった時、緊張や書き間違いを不安に思っただけでなく、



19歳、緊張の初投票！

動かなかった。しかし何とか書き終え、箱に入れ、2枚目へ向かった。2枚目は1枚目よりも速く書けた。投票を終えて外に出ると、選挙のポスターが目にと、選挙のポスターが目に留まった。無意識のうちに投票した政党を探した自分に気が付いた。今までは何も感じず素通りするだけだったのに。一枚一枚を見ることがなんて決まっていたの。投票という行為が私に変化をもたらしたの

長後地区社会福祉協議会主催

投稿

笑顔いっぱいハケ岳ツアー

7月16日(土)、17日(日)に長後地区社会福祉協議会主催で「ハケ岳障がい者ツアー」が行われた。長後市民センターを後にいよいよハケ岳体験教室へ出発、皆ウキウキ楽しい声が聞こえる。最初の目的地は2014年にオープンしたリニア見学センターだ。時速500kmの世界を疑似体験、時代の流れにびくつき。参加者それぞれが見たり体験したりで笑顔がいっぱいだった。



リニアのジオラマにくぎ付け

見学後、一番楽しみにしていた食事処でゆっくりと食事を済ませ、途中休憩を取りながらバスはハケ岳へ。宿泊地へ到着、鍵を渡され大きな荷物を掲げ

て部屋に入った。夕食後、体育館で卓球や輪投げ等、自分で出来る遊戯を探して遊ぶ姿が楽しそう。2日目は晴れ。今日の目的地はびくつき市場、野辺山高原で採れた新鮮な野菜をたくさん購入。最後は小林農園で昼食と桃食べ放題。お腹一杯ピタミンCを取り「帰ったらいよいよハケ岳、ダイエツト」と出来ない言葉を聞きながら桃園を後に。2日間の旅は無事に終わった。(参加スタッフ一同)

藤沢市PTA連絡協議会講演会

「コミュニケーション再考〜もつと分かり合うために〜」

7月16日(土)湘南台公民館ホールにて藤沢市PTA連絡協議会主催で東京工業大学芸術学部教授、大島武氏の講演会が開催された。大島氏は大島渚映画監督の息子で、鶴沼在住。毎回好評の講演会は今回も80名以上の参加者があった。

「コミュニケーションは誤解があつて当たり前」と大島氏。相手の話が難しい、

わからないと感じた時には心を閉ざしてしまつたため、分かり易く話すことの大切さを全員参加のクイズ形式で体験学習して、上手なコミュニケーションのノウハウを楽しく学んだ。大島氏の人柄も感じられ、難しい内容も身近になり、参加者からはたくさん質問や意見が出て盛り上がった。

夏満開！各地で夏祭り

7月23日(土)第278号緑の広場で中高倉北と南の両自治会による納涼夏まつりが開かれた。

まずは投票から始めてみるのも悪くないと思う。これからは、政治に関するニュースを積極的に見ていこうと思つている。(高倉19歳女性)

(高倉19歳女性)

地域団体の模擬店が並ぶ中、カラオケ大会は子どもから大人までがやぐら上で熱唱。盆踊りは若い人も加わり、炭坑節に加えアニメの音頭や長生きサンバも流れる中、踊りの輪が花開いた。7月30日(土)には、あいもーる、長後北部友和会主催の夏祭りも開催、長後の夏はピークを迎えた。



踊りで広がる地域の輪

告知板

サークル会員募集
メンスグルメクッキング

日時 第1土曜日

17時〜19時

場所 長後公民館

講師 壺井光代先生

内容 調理実習

会費 2万4千円/年

(10回)

申込 西川勝基

(45)3792

郷土づくり推進会議

定例会のお知らせ

日時 8月12日(金)

13時30分

9月16日(金)

13時30分

場所 長後市民センター

2階文化室

*傍聴自由です

編集後記

☆少子高齢社会では高齢の有権者比率が上がり、政策も高齢者向けに偏りがち。そんなシルバー民主主義に若者の一票が清新な風を送った。

☆夏休みに合わせて「ポケモンGO」が国内配信された。歩きスマホの危険が増すと、官房長官から異例の警告。子ども達にも危険が迫る！モンスターはポケットへGO。(水)